

遅くなりましたが、景観と環境についてのアンケートの回答をお送りします。よろしくお願いいたします。

2009. 6. 29 千代田区日本共産党都議予定候補牛尾こうじろう

1の回答

「都市を中心とした大規模開発や超高層・大規模ビル林立は、長い間住み続けてきた住民が追い出され、暮らしづらくなるばかりでなく、CO2排出増大やヒートアイランド化などの環境問題にもつながり、大問題です。超高層ビル建設の適切な規制強化が欠かせません。この間の一連の建築・再開発規制緩和と都市再生法は、大企業の利益のためのものであり反対です。私は、住民のみなさんとともに、住環境破壊を超高層・大規模ビルの建設見直しを求める運動に取り組んでいます」

2の回答

私は、「まちづくりの主人公は住民」という立場でとりくんできました。住民参加型への都市計画法や建築基準法の改正などを、「まちづくりの主人公は住民」の立場から積極的に国に働きかけていきます

3の回答

「開発にあたっての住民合意を事業者には義務づける等、まちづくりのあらゆる段階に住民参加をすすめます。法整備と地方分権をすすめるとともに、住環境破壊の大規模開発の抑制や建物の高さ制限をすすめます」

4の回答

「歴史的建造物は、その全体が保存されることが望ましいと思います。一部保存にまったく意味がないとは思いませんが、特例容積率適用区域など容積緩和と引き換えにされるようなことはあってなりません」

5の回答

「乱開発を規制し、景観を守ることは住民のみなさんの願いでもあります。住民のためのルールあるまちづくりをすすめる重要な手法の一つと考えます」

6の1の回答

「住民合意なしの裁決前の変更は認めず、裁決結果を受けて事業者に対応させるようにすべきだと思います」

6の2の回答

「民間確認検査機関には株式会社が多く、開発業者、ゼネコンなどが出資しており、建築審査会の審議に必要な中立性の確保の観点などから改善が必要と考えます」